

## 第6回 矢部川学識者懇談会 議事概要

日時：令和5年10月3日(火) 15:00～16:30

場所：国土交通省筑後川河川事務所会議室

出席者：(委員)小松委員長、猪上委員、尾田委員、加藤委員、駄田井委員、半田委員

矢野委員、(吉岡委員：欠席)

(事務局)国土交通省 吉田筑後川河川事務所長、他

### I. 次第

1. 開会
2. 挨拶 筑後川河川事務所 事務所長
3. 委員紹介
4. 議事
5. 閉会

### II. 主な意見等

【◎は委員の意見、○は事務局の発言】

議事)矢部川総合水系環境整備事業の事業評価【資料-1】

#### (主な意見)

- ◎事業工程において、今後5年間はモニタリング調査の実施となっているが、整備は殆ど完了している。仮に、事業を継続しないことになっても、今後に影響は出ないのではないか。
- 今後の事業としては、イベントや日常利用を進めながら整備の効果を確認する。昭和30年頃のにぎわいを取り戻すことを目標に、WGや協議会等の地域が主体となった利活用の継続が可能か、今後評価していく。
  
- ◎地域の方の協力によって維持管理を行っていくとのことだが、維持管理を継続するための工夫はあるのか。協力していただける地域の方の高齢化等が懸念されるが、何か工夫はしているか。
- 現段階ではWGメンバーや市の職員の協力のもと、維持管理を行っている。今後、地元の方を巻き込んで維持管理を行っていく仕組みづくりが必要だと考えている。令和5年3月に開催した「矢部川 de 竹あかり」イベントでは、青年会議所が草刈り・企画・運営を主体となって実施した。
  
- ◎筑後広域公園周辺の住環境は非常に良いが、筑後市とみやま市の人口は殆ど変動していない。今後の利活用には、地域の人口増加のための視点も重要ではないか。
  
- ◎審議結果は、対応方針(原案)のとおりとする。

以上